

新型コロナウイルス感染症拡大に対応した 応急手当について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、応急手当を行う方の感染防止のため、次の点についてお気をつけください。

- ・ マスクがあれば着用しましょう。
- ・ 倒れている人の意識や呼吸の確認をするときは、顔と顔があまり近づきすぎないように注意しましょう。呼吸の確認は、胸とお腹の動きを見て行います。
- ・ 胸骨圧迫を開始する前に、倒れている人の口と鼻に、布(衣類など)やタオル、マスクなどがあればかぶせましょう。
- ・ 応急手当を行う方が複数いれば、部屋の窓を開けるなど、室内の換気をしましょう。

◇倒れている人が大人の場合

胸骨圧迫のみを行い、人工呼吸は行わないでください。

◇倒れている人が子どもの場合

人工呼吸の訓練を受けており、それを行う意思がある家族等は、胸骨圧迫に加えて人工呼吸を行います。

人工呼吸用マウスピース(一方向弁付)等があれば、活用しましょう。

◇救急隊に引き継いだら

- ・ 口元にかぶせた布やタオル、マスクなどは、直接触れないようにして廃棄しましょう。
- ・ 石けんを使い、手と顔をしっかり洗いましょう。
- ・ うがいをしましょう。

※AEDの装着、使用についての変更はありません。

※これらの応急手当方法は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による一時的な手法です。

参考:厚生労働省 救急医療

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123022.html>